

みんなのひろば

ここはみなさんが主役のひろばです。
身近な話題をどんどんお寄せください。

■役場総務課 TEL42-1613



森林環境交付金事業

快適なあいの沢へ



▲遊歩道にチップを散布する参加者のみなさん

3/1 「あいの沢」にチップ散布
 村民の森「あいの沢」で、園内へのチップ散布が行われ、村民ら25人が参加しました。
 この事業は、チップ散布を通して園内の快適化を図り、参加者に森林に親しみを感じてもらおうと、村が森林環境交付金事業として行いました。
 チップを敷いた園内

はクッションが利き、足に負担が少ないのが特徴です。
 参加者のみなさんは、「春になってあいの沢に訪れる観光客の方々にも、歩きやすい遊歩道などを楽しんでほしい」と話し、村産間伐材で作ったチップを園内へていねいに敷き詰めていました。



我が子の住む村 どんな村？

3/24

マリさんのご両親が村を訪問



▲菅野村長と交流を深めるロバーツさん一家

外国語指導助手のマリ・ロバーツさんのご両親がイギリスから来日し、菅野村長を訪れました。

ロバーツさんご夫婦は、「村に来るまでは、多少不安はありましたが、娘がとても楽しそうで安心しました。村の方々はみなさんとても優しい。これからも娘をよろしくお願いします」と笑顔を見せていました。



▲来村されたご両親（写真左から、ALT 担当職員、門馬副村長、デルインさん、マリさん、菅野村長、リアノンさん）

出場選手2人に激励金

川俣高2年生の熊川雄太君（飯樋町）と佐藤奈緒美さん（関沢）が、3月26日から石川県で開かれる「第24回全国高等学校ウエトリフティング競技選抜大会」へ出場することになりました。

大会前、2人が役場を

訪れ菅野村長に出場を報告。菅野村長から2人に村スポーツ振興基金からの激励金が贈られました。激励金を受け取った2人は「全国区のライバルに負けないよう、力を尽くします」と健闘を誓いました。



▲全国大会に出場する熊川君（写真左）と佐藤さん（写真中央）

小さな村の生き残り策



近頃の挨拶に「昨年、村では93人が亡くなったのに対し、生まれた方は38人でした」という話をさせていただいています。それは、出生数の方が死亡数よりはるかに多かった時代が過ぎ、平成8年に逆転した後、その差は広がり、結果として、今、村では年間100人近くの人口が減っているという話を、皆さんに知っていただきたかったからです。

そのような中、考えられることは、「高齢者の方は、できるだけ健康で長生きしていただきたいこと」、「子どもの産み育てやすい環境を作っていくこと」ではないでしょうか。

特に、子育て支援と子どもたちへの投資に力を入れてきたところですが、村では、3年程前に「いいたてつ子未来基金」というものも作りました。現在、多くの方に賛同していただいて、496万702円（平成21年3月末現在）ほどの基金になっています。

今回、定額給付金を村内に1億500万円程配らせていただきましたが、行政区長さんや民生委員さんのご協力により、各集会所で現金渡しができました。その折1000円以内の「いいたてつ子未来基金」への募金をお願いしたところ、なんと20万6557円賛同していただきました。1000円以上ではなく、以下にしたのは、あくまでもお金を多く集めたいというより、「みんなで次の世代に手を差しのべ合おう」という『心の循環』を作りたいからです。

「せっかくもらった金を」との声もあつたやに聞いていますが、人口が減っていく小さな村が生き残っていくには、このようにお互いを気遣ったり、助け合ったりしていく土壌を作っていくことが、何より大切なことではないでしょうか。

3月19日のある新聞の投稿欄にこんな記事が載っていました。

「特筆すべきことは、飯樋村が給付金を各集会所で村民に手渡しするか。また子ども基金への一部寄付を呼び掛けるということ、見習いたいものだ。わが市では、特別な動きがない。汗水を流して得た金でなし、天からの恵みであり、少しは弱者にすすそ分けするのが、人の道とと思う。81歳の方の、ずしりと重い主張でした。」

平成21年3月31日

飯樋村長 菅野 典雄



誕生おめでとう

赤ちゃんのなまえ 親の氏名 行政区

長谷川美羽ちゃん 義宗・千代美 前田
只野陽向くん 知之・智恵 前田・八和木
すくすくと元気に育ってね

結婚おめでとう

氏名 行政区

	高橋 勇次	小宮
	金澤 さゆり	伊丹沢
	庄司 朋克	関沢
	古川 紫穂	飯樋町
	高野 順吾	前田・八和木
	佐藤 智江	関根・松塚
	末永 進一	深谷
	菅野 沙織	伊達郡川俣町

いつまでもお幸せに

おくやみ

氏名 年齢 行政区

山口 年己	57	上飯樋
林 正男	65	前田・八和木
菅野 ケサヨ	78	比曾
金澤 健三	81	大久保・外内
佐藤 昭和	80	宮内
高橋 キヨ子	85	二枚橋・須萱
若林 茂吉	87	二枚橋・須萱

ご冥福をお祈り申し上げます

(2月21日から3月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

ひとのうごき

(平成21年3月1日現在)

人口	今月 (前月比)	昨年同期
男	3119人 (±0人)	3173人
女	3124人 (-7人)	3200人
計	6343人 (-7人)	6373人
世帯数	1688戸 (±0戸)	1697戸

◆◆◆2月1日～28までの人口動態◆◆◆

転入	9人	転出	11人
出生	3人	死亡	8人

(平成17年国勢調査に基づき増減された現住人口)

お世話になりました

～ 村民の健康管理に多大な貢献 ～



▲職員と握手を交わす松本さん(写真右)と阿部さん(写真中央)

3/30

診療所医師退任式

松本先生11年勤務
阿部先生8年勤務

飯樋診療所の医師松本秀夫さんと草野診療所医師阿部光春さんが、この3月いっぱい退任されました。

松本さんは、平成10年4月から11年、阿部さんは平成13年4月から8年にわたり、診療や往診、学校検診、村の保健事業、いたてホームの嘱託医など多岐にわたり、村民の健康管理にご貢献いただきました。今まで、本当にありがとうございました。

蕨平地区 佐須地区 携帯電話の通話サービス開始



▲蕨平地区に建設された鉄塔

村が、県や国の補助を受けて蕨平地区・佐須地区に整備を進めてきた携帯電話鉄塔施設(蕨平基地局・佐須基地局)が3月に完成しました。

この地区で利用できるのはNTTドコモとKDDI(au)の携帯電話で、サービス開始は4月頃を予定しています。

携帯電話の機種によっては利用できない場合もありますので、通話エリアや機種等については、ご利用の携帯電話会社にお問合わせください。